

台湾 豚で口蹄疫発生 近隣諸国でも小規模な発生が散発

台湾における口蹄疫(O型)の発生について

▼経過：7月11日、新北市鶯歌区、7月26日、台南市Shigang区で発生。

血清学的調査において、抗体検出ELISA検査で17検体が陽性。

RT-PCR検査及びウイルス分離は陰性。

発生農場の全ての豚で臨床症状は認められていない。

▼防疫措置：移動制限、清掃、消毒を実施。

淘汰及び追加的なワクチン接種は実施していない。

発生農場から3km以内の農場でモニタリング及び疫学調査を行った

結果、臨床症状はなく、感染に関わる疫学的証拠も見つからなかった。



農場へウイルスを侵入させないポイント

- ▼ 自分の農場に入る際も、靴、持ち込むものの消毒の徹底
 - ▼ 外部からの人や車を農場に入れない
 - ▼ 農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒
 - ▼ 踏込消毒槽、専用の作業着及び長靴を設置
 - ▼ 発生国に滞在し、ウイルスを伝播する可能性のある人や発生国から輸入された物を農場に近づけない。渡航は控える。
 - ▼ 家畜の導入は、状況を見据えて、より慎重に(導入した場合は、隔離観察を徹底) 等
- 毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください。



日本は2月5日に「口蹄疫清浄国」に復帰しました。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp